

平成 24 年 7 月 24 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 エ ニ グ モ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 須 田 将 啓
共同最高経営責任者
代 表 取 締 役 田 中 禎 人
共同最高経営責任者
(コード番号：3665)
問い合わせ先 執 行 役 員 金 田 洋 一
コーポレートオペレーション本部長
TEL. 03-5775-4760

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 24 年 7 月 24 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【単 体】

(単位：百万円、%)

項目	平成25年1月期 (予想)			平成25年1月期 第1四半期累計期間 (実績)		平成24年1月期 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売 上 高	1,190	100.0	139.8	308	100.0	851	100.0
営 業 利 益	365	30.7	177.9	124	40.2	205	24.1
経 常 利 益	354	29.8	171.7	123	39.9	206	24.2
当期(四半期)純利益	239	20.1	97.3	104	33.8	246	29.0
1株当たり 当期(四半期)純利益	145円24銭			69円35銭		16円65銭 (166円50銭)	
1株当たり配当金	—			—		—	

- (注) 1. 当社は子会社がございますので、連結財務諸表は作成しておりません。
2. 平成 24 年 1 月期(実績)及び平成 25 年 1 月期第 1 四半期累計期間(実績)の 1 株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
3. 平成 25 年 1 月期(予想)の 1 株当たり当期純利益は、公募予定株式数(120,000 株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。なお、オーバーアロットメントによる売出に関連する第三者割当増資分(最大 25,800 株)は考慮しておりません。
4. 当社は平成 24 年 4 月 21 日付で株式 10 株につき 1 株の株式併合を行っております。そこで、当該株式併合に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の 1 株当たり指標の数値は()内に記載しております。

平成25年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月24日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社エニグモ
コード番号 3665 URL <http://www.enigmo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 共同最高経営責任者 (氏名) 須田 将啓
(役職名) 代表取締役 共同最高経営責任者 (氏名) 田中 禎人
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートオペレーション本部長 (氏名) 金田 洋一
TEL (03) 5775-4760

四半期報告書提出予定日 ー 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第1四半期の業績(平成24年2月1日～平成24年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第1四半期	308	—	124	—	123	—	104	—
24年1月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第1四半期	69 35	—
24年1月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成24年4月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり四半期純利益は当該併合調整後の数値を記載しております。
2. 当社は、平成24年1月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成24年1月期第1四半期の数値及び平成25年1月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権残高がありますが、平成25年1月期第1四半期において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年1月期第1四半期	1,253	747	59.6
24年1月期	1,125	631	56.1

(参考) 自己資本 25年1月期第1四半期 747百万円 24年1月期 631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	0 00	—	0 00	0 00
25年1月期	—				
25年1月期(予想)		0 00	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の業績予想(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,190	39.8	365	77.9	354	71.7	239	△2.7	145 24

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2. 平成25年1月期に業績予想の1株当たり当期純利益は、公募株式数(120,000株)を含めた予定期中平均発行株式数により算出しております。なお、オーバーアロットメントによる売り出しにおける発行株式は加味しておりません。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年1月期1Q	1,616,400株	24年1月期	1,497,400株
② 期末自己株式数	25年1月期1Q	一株	24年1月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年1月期1Q	1,502,689株	24年1月期1Q	一株

(注) 当社は、平成24年4月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合を行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 当社は、平成24年4月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
(4) 中長期的な会社の経営戦略	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、国際的な金融不安の改善等を背景として企業収益環境が改善し、東日本大震災によって落ち込んだ企業業績にも改善基調が見られました。

しかしながら、欧州の政府債務危機に伴う金融市場の動向や海外景気の下振れリスクについては依然不透明感が強く、中長期的にも潜在成長率の低下傾向が続く可能性が高く、本格的回復の時期は見通せない状況が続いております。

一方で、当社が事業を展開するEC市場では、スマートフォンの普及と機能革新を背景に、苦戦が続く小売業界全体をよそに、特にファッション・アクセサリ、医薬化粧品などの分野は前年比で30%以上の伸びを示し、引き続き堅調に推移しました。

このような状況の中、当社が事業を展開するソーシャル・ショッピング・サイト「BUYMA（バイマ）」は前期に引き続き堅調に推移し、会員間における取引高の大幅増加により当第1四半期累計期間の売上高は308,604千円となりました。また、営業利益及び経常利益はそれぞれ124,148千円及び123,071千円と増益となりました。同様に、四半期純利益についても104,205千円と増益となりました。

（2）財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べて127,742千円増加し、1,253,218千円となりました。これは主として、「BUYMA」における会員間取引の拡大等により現金及び預金が138,637千円増加したこと、及び「BUYMA」サービス拡充のためのサーバー等の設備投資等による有形固定資産の増加6,395千円によるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べて11,637千円増加し、505,859千円となりました。これは主に「BUYMA」知名度向上のための広告宣伝費及び販売促進費等の増加により未払金が10,063千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて116,105千円増加し、747,358千円となりました。これは主に四半期純利益の増加により利益剰余金が104,205千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

EC (電子商取引) 市場においては、スマートフォンやタブレットPCの急速な普及と、各小売市場でのEC化率の高まりによって、近年堅調に市場規模を拡大してきており、今後もこの傾向は中長期的に続くものと想定しております。

こうした市場環境のもと、当社はソーシャル・ショッピング・サイト「BUYMA」におけるCtoCプラットフォーム型ビジネスモデルの特徴である「旬で豊富な品揃え」や「在庫の効率化」といった強みを、世界70ヶ国に点在するバイヤー (出品者) の拡大と、質の高いサポートで強化し、既存事業の拡大や関連サービスの拡充に注力して参ります。

当期においては、スマートフォンやタブレット端末等に対するサイトの最適化やユーザビリティの向上、買物体験の質の向上、出品商品の更なる拡充に注力しており、「BUYMA」における新規会員は堅調に増加してきております。また、サービス品質の向上により利用者一人当たりの購入金額も増加しており、サービス規模の拡大を後押ししております。

以上より、当期の見通しについては、売上高1,190,741千円 (前年同期比39.8%増)、営業利益365,074千円 (同77.9%増)、経常利益354,277千円 (71.7%増)、当期純利益は239,846千円 (同2.7%減) を見込んでおります。

(4) 中長期的な会社の経営戦略

当社は、設立以来、CtoCプラットフォーム型ビジネスモデルを活用したソーシャル・ファッション・サイト「BUYMA」の運営に注力して事業を展開しております。

現在の主力事業である「BUYMA」は、ビジネスモデルの構造上の特性を生かし、ファッションEC市場の堅調な規模拡大に後押しされ、安定的な成長を実現してきております。

今後も、EC化率の高まりによる市場規模拡大が予測される中で、当社は、既存事業における事業規模拡大に向けてターゲット及びカテゴリの拡大に注力し、安定的かつ継続的な成長を実現するとともに、既存のCtoCプラットフォーム型ビジネスモデルを発展的に活用し、海外へのサービス展開も目指して参ります。また、既存事業で蓄積された技術や開発力を活用して、関連サービスの研究開発にも積極的に取り組み、世界を変える新しい価値の提供に取り組んで参ります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用

当第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

		当第1四半期会計期間 (平成24年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		1,077,806
売掛金		28,120
繰延税金資産		102,455
その他		2,980
流動資産合計		1,211,362
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)		3,721
工具、器具及び備品 (純額)		8,181
建設仮勘定		2,446
有形固定資産合計		14,349
無形固定資産		
ソフトウェア		16,116
その他		18
無形固定資産合計		16,135
投資その他の資産		
繰延税金資産		1,508
敷金及び保証金		9,861
投資その他の資産合計		11,370
固定資産合計		41,855
資産合計		1,253,218

（単位：千円）

当第1四半期会計期間
（平成24年4月30日）

負債の部	
流動負債	
買掛金	1,086
未払金	41,489
未払費用	4,395
未払法人税等	1,085
未払消費税等	12,513
預り金	438,800
その他	1,631
流動負債合計	501,003
固定負債	
長期未払金	4,856
固定負債合計	4,856
負債合計	505,859
純資産の部	
株主資本	
資本金	190,770
資本剰余金	200,341
利益剰余金	356,246
株主資本合計	747,358
純資産合計	747,358
負債純資産合計	1,253,218

(2) 四半期損益計算書

第 1 四半期累計期間

(単位：千円)

	当第 1 四半期累計期間 (自 平成24年 2 月 1 日 至 平成24年 4 月 30 日)
売上高	308,604
売上原価	70,767
売上総利益	237,836
販売費及び一般管理費	113,687
営業利益	124,148
営業外収益	
受取利息	72
為替差益	916
不用品処分益	105
受取損害金	1,000
営業外収益合計	2,094
営業外費用	
株式公開費用	3,072
その他	99
営業外費用合計	3,171
経常利益	123,071
税引前四半期純利益	123,071
法人税、住民税及び事業税	72
法人税等調整額	18,793
法人税等合計	18,865
四半期純利益	104,205

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。